

埼玉の豊かな
水とみどりを
守り育む分科会



～水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた検討部会～

部会における背景・課題等について

川の国埼玉の将来像

魅力的な水辺空間が県民の**大切な財産**として守り育てられ、**人々が賑わう**埼玉の豊かな川



人々の賑わいのみで、自然環境や生物多様性をおろそかにして

「川の国埼玉」の実現はない

調節池をテーマに保全と利活用の両面を検討

令和6年度の取組み内容について

「利活用×環境保全」をテーマに、水質改善や環境保全を考えるプロジェクトを実施

プロジェクトチーム	活動概要
大相模調節池PT	高校生による水質改善×水辺空間活用にむけたアイデア検討
自然共生サイトPT	大森・水谷調節池における自然タイプ調査・維持管理メニュー検討
調節池利活用PT	民間による商業利用促進に向けた取り組みの検討

構成メンバー(7者)

(一社)近未来ハイスクール NPO法人越谷市カヌー協会
(公財)埼玉県生態系保護協会 (株)埼玉りそな銀行 (株)地域デザインラボさいたま
レイクアンドピース(株) 埼玉県河川環境課

※その他協力企業・団体等多数

埼玉版 SDGs 官民連携プラットフォーム水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた部会

近未来
ハイスクール

水辺 の 科学 と 学習





近未来ハイスクール

変人と高校生・高専生を
つなぐキャリアと探究の
プログラム



レイクタウンを学びのフィールドへ



レイクタウンを学びのフィールドへ

水辺を科学する



レイクタウンを学びのフィールドへ

水辺を科
学する

水辺で
妄想する

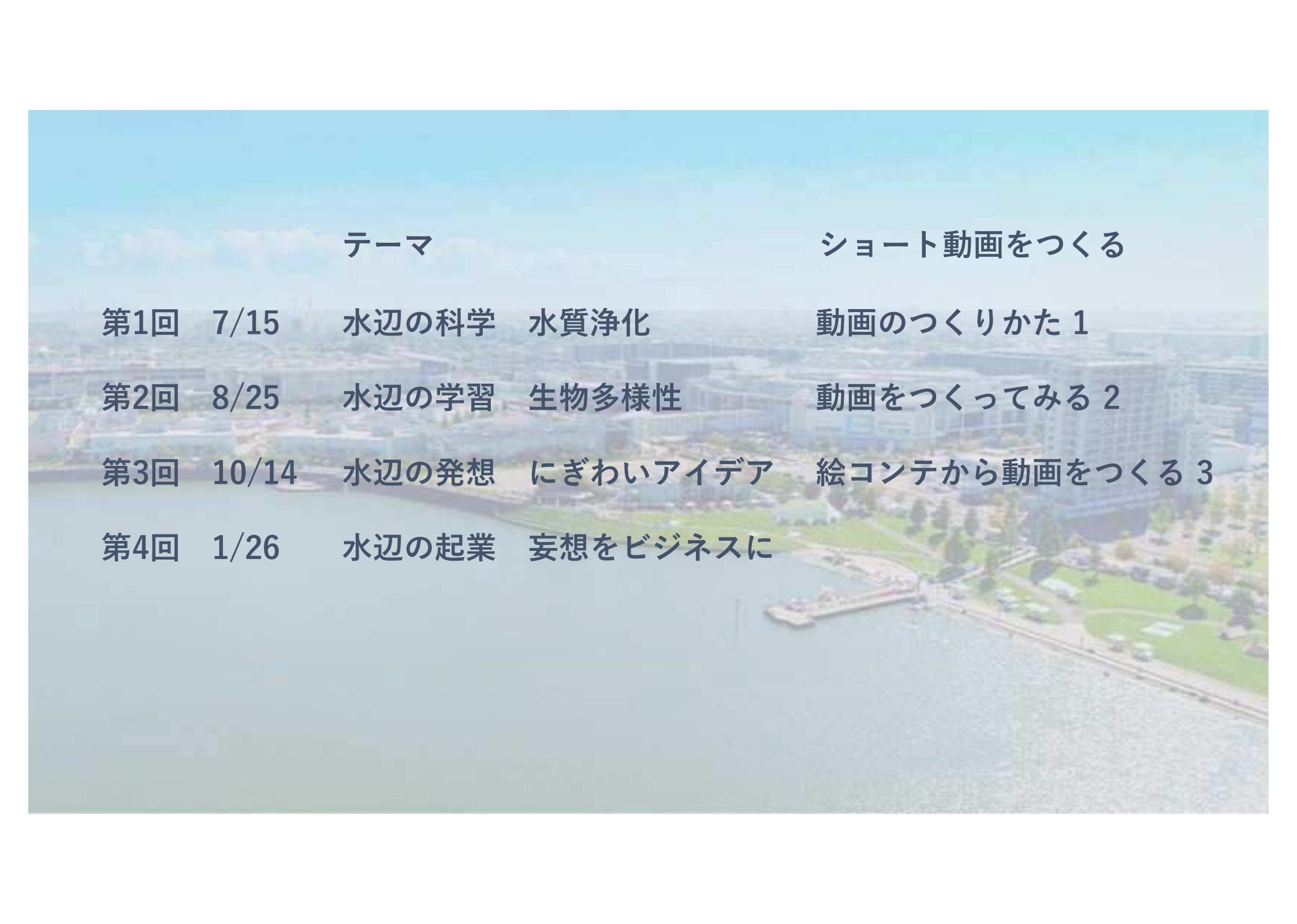


レイクタウンを学びのフィールドへ

水辺を科
学する

水辺で
妄想する

水辺で
つくる



テーマ

ショート動画をつくる

第1回	7/15	水辺の科学	水質浄化	動画のつくりかた 1
第2回	8/25	水辺の学習	生物多様性	動画をつくってみる 2
第3回	10/14	水辺の発想	にぎわいアイデア	絵コンテから動画をつくる 3
第4回	1/26	水辺の起業	妄想をビジネスに	

住民のニーズ





住民のニーズ
池の水を
きれいにしたい

レイクタウンを学びのフィールドへ

水辺を科学
する



東京科学大学 吉村研究室

水環境保全を考える
池の水を濾過する



浮く畑
&
プランツクリエーター

空芯菜を収穫する



A man in a light blue shirt is kneeling on a paved surface, demonstrating a water purification device. He is gesturing with his hands as he speaks to a group of people. The device consists of a clear plastic container with a white filter inside, connected to a white tube. Other people are visible in the background, some holding papers. The scene is outdoors, with a brick wall in the background.

NTT東日本

池の水を浄化する機械 のデモを見る

News Release

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

2024年8月27日

東日本電信電話株式会社 埼玉南支店

高校生が社会課題解決アイデアやビジネスを考える 「近未来ハイスクール『水辺の科学と学習』」が越谷レイクタウンで開催！ ～NTT東日本は“災害時に水を浄化する仕組み”を講義・実演～

東日本電信電話株式会社 埼玉南支店（支店長：霜島 正純、以下「NTT東日本」）は、越谷レイクタウンにて8月25日（日）、埼玉県などが主催するワークショップ「近未来ハイスクール 水辺の科学と学習^{※1}」の第二回「水辺の学習～生物多様性と企業活動」において、持続可能なビジネスを考えるための「生物多様性や環境についての講座」に登壇し、水を浄化するデモンストレーションや講義を行いました。ワークショップでは、参加した高校生が、各分野のプロからの講義やアドバイスや水辺での体験などを基に、様々な事業化アイデアを考えました。

※1：「水辺の科学と学習」ワークショップ：

（主催）埼玉県/埼玉県 5G+ 官民連携プラットフォーム水辺空間の持続可能な利活用及び環境課題解決に向けた部会

（概要）https://www.kimira.jp/cn/2024/06/202407-sakusyu_kasaku/

<当日の様子>



水浄化のデモンストレーションで、浄化の仕組みや
浄化状況データの講義実演・活用説明を行いました

FOMM

水陸両用車を試乗する



環境省

生物多様性を学ぶ



大相模どうぶつ病院

レイクタウンの
生物たち

「撮り」愛好家

上がりますエキゾチックアニマルの中でも
特に鳥を診察する獣医は野鳥を取ること

- ツバメ
- キジ
- ムクドリ
- ヒヨドリ
- カワラヒワ
- メジロ
- シジュウカラ
- サギ科
- カモ
- カイツブリ



調査船

足漕ぎボートHobieで
池の採水にむかう



採水ポイント2

浮く畑

レイクタウンを学びのフィールドへ

水辺で
妄想する

東京科学大学

大相模湖湖底の水質を科学的に考える

水の調査結果をもとに
水質を科学的に考える

吉村千佳・林健斗
東京科学大学



埼玉大学

海外の水辺の
スタートアップ
最新事情



ワークショップ

水辺のビジネスを
妄想する



アイデア名

うなぎの養殖でブランディング

地域・経緯

【レイアウトの「まち」としての特徴】

アイデア

- うなぎの養殖でブランディング
- 水質浄化の経過をたまごっち的なアプリで表現
ほか

ビジネスの影響

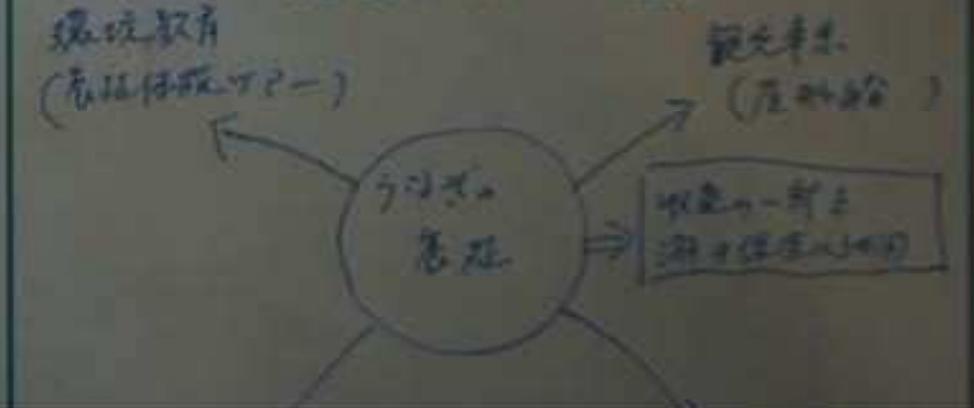
【地域に与える影響はあるか】

- ・ 地域活性化
- ・ 環境保全の取り組み

【SDGsのどのゴールにつながるか】

- ・ 地域活性化
- ・ 環境保全の取り組み

【事業のイメージ図】



レイクタウンを学びのフィールドへ

水辺で
つくる



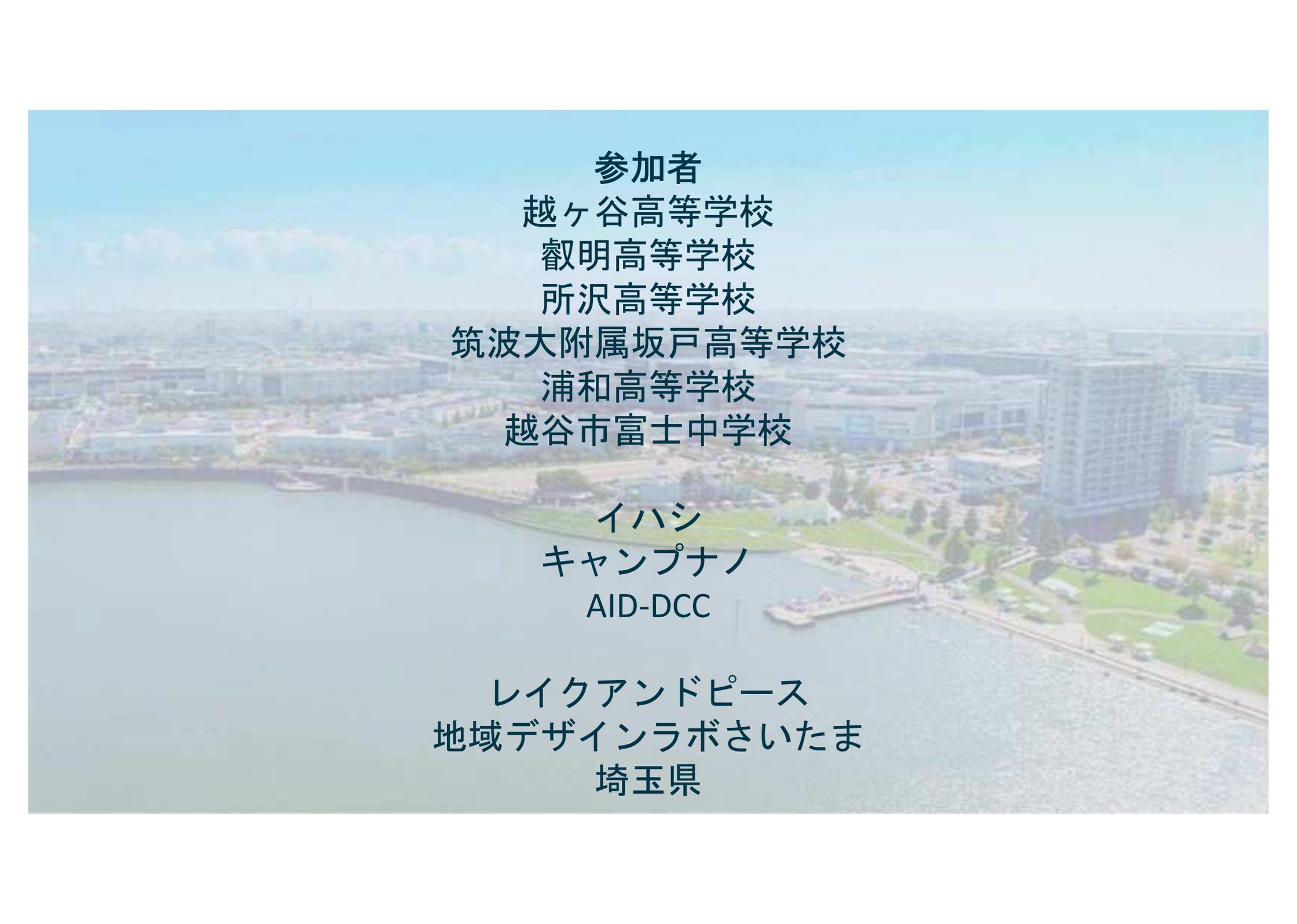
Youtuber

ショート動画をつくる

Youtuber

ショート動画をつくる





参加者

越ヶ谷高等学校

叡明高等学校

所沢高等学校

筑波大附属坂戸高等学校

浦和高等学校

越谷市富士中学校

イハシ

キャンペナノ

AID-DCC

レイクアンドピース

地域デザインラボさいたま

埼玉県



越谷レイクタウンを

環境を学ぶ

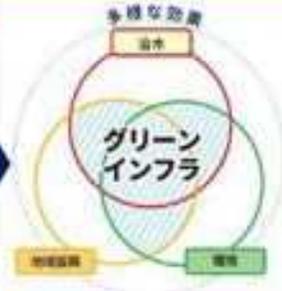
探究・実証実験の聖地へ

自然共生サイトPTの活動

グリーンインフラとしての多重防御治水

多重防御治水の実現
と
環境・地域振興の実現の
両立を目指す

- 自然環境が向する機能
- 良好な景観形成
 - 生物の生息・生育の場所の提供
 - 治水対策（浸透等）
 - 健康・レクリエーション等文化提供
 - 騒音防止
 - 汚水減量、緑雨
 - 地球温暖化緩和
 - ヒートアイランド対策等



河川 流域 三位一体の対策	1	河川の流下能力の向上 ○土砂掘削、樹木伐採 ○堤防整備（掘削土を活用）	河川イメージ図 	河川	1	河川の廊下機能の向上 ○多自然川づくりの推進 ○自然再生事業との連携
	2	遊水・貯留機能の確保・向上 ○遊水地の整備 ※治水対策河川・遊水地は、河川の両方に、併設する遊水地（遊水地ハイブリッド型遊水地）を併設 ○既存ダムの洪水調節機能強化		流域	2	遊水・貯留機能のウェットランドの創出 ○初期逕水池等の水域の活用 ○既存自然地・農耕地の保全
	3	土地利用・住まい方の工夫 ○土地利用制限（災害危険区域の設定等） ○家屋移転、住宅の嵩上げ ○高台整備（遊水地等に活用） ○内水対策の検討		流域	3	被災形態選択区域の環境保全 ○既存自然地・農耕地の保全（自治体等と連携して実施） ○エコツーリズム・環境学習等への場の提供

・多自然川づくり
・掘削と併せたウェットランド創出
・初期逕水池等のウェットランド化等
・既存自然地・農耕地の保全

出典：
国交省関東地方整備局河川部、
2020年1月31日記者発表資料

関東4水系における「緊急治水対策プロジェクト」を踏まえ、河道掘削、堤防整備、遊水地整備等を実施します

多重防御治水の実現

エコロジカル・ネットワーク形成

地域振興の実現

自然共生サイトPTの活動

「生物の生息・生育・繁殖の場としてもふさわしい河川整備及び流域全体としての生態系ネットワークのあり方」
提言概要 別紙1

現状

- 平成9年の河川法改正により、治水などと同様に、河川環境の整備と保全が目的に位置づけられたことをはじめ、河川行政においては、多自然川づくりなど、様々な河川環境施策を進めてきた
- 今後は、従来の河川環境施策に加え、近年の社会経済情勢等の変化を踏まえた充実が必要



今後の河川整備等のあり方

河川における取組	流域における取組
(1)河川環境の目標 治水対策と同様に、河川環境についても目標を明確にして、関係者が共通認識の下で取組を展開 <ul style="list-style-type: none"> ・「生物の生息・生育・繁殖の場」を河川環境の定量的な目標として設定 ・河川整備計画へ河川環境の定量的な目標を位置づけ、長期的・広域的な変化も含めて評価 ・河川や地域の特性を踏まえた目標の設定 など 	(1)流域連携・生態系ネットワーク 流域治水の推進を通じた、流域が連携して取り組む機運の高まりを、流域の環境保全・整備にも展開 <ul style="list-style-type: none"> ・流域治水の取組とあわせ、グリーンインフラの取組を展開 ・生態系ネットワーク協議会の取組の情報発信・共有 ・関係機関と連携した環境データの一元化や共同研究の促進 など
(2)生物の生息・生育・繁殖の場を保全・再生・創出 蓄積された知見や社会経済情勢等の変化を踏まえ、全ての河川を対象に、多自然川づくりを一層推進 <ul style="list-style-type: none"> ・調査、モニタリング等を通じ順応的に管理 ・災害復旧や施設更新を、ネイチャーポジティブを実現する機会と捉え、環境も改善 など 	(2)流域のあらゆる関係者が参画したくなる仕組みづくり ネイチャーポジティブの動きや民間企業の環境意識の高まりを踏まえた仕組みづくりを推進 <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等による流域における環境活動の認証、官民協働に向けた支援や仕組みの充実 ・利用しやすい環境関連データの整備と情報発信 など

出典：
国交省水管理・国土保全局河川環境課、
2024年5月24日公表資料

「ネイチャーポジティブを実現する川づくりを進めます
～有識者による検討会の提言～」

自然共生サイトPTの活動

『自然共生サイト』について



自然共生サイトとは

ネイチャーポジティブの実現に向けた取組の一つとして、環境省では、企業の森や里地里山、都市の緑地など「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を「自然共生サイト」として認定する取組を令和5年度から開始しました。認定区域は、保護地域との重複を除き、OECM (Other Effective area-based Conservation Measures: 保護地域以外で生物多様性保全に資する区域) として国際データベースに登録され、30by30目標の達成に貢献します。

- ・「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を保護地域内外問わず「**自然共生サイト**」に認定。
- ・「自然共生サイト」に認定された区域のうち、**保護地域との重複を除いた区域**を「**OECM**」として登録。

出典：
環境省資料

大森調節池(供用済み)における取組



大森調節池(供用済み)における取組



出典：
埼玉県生態系保護協会
入間支部webサイト

整備初期に描かれた
大森調節池の目標像

大森調節池(供用済み)における取組



飯能県土整備事務所提供

ドローン画像
(2023年9月撮影)

大森調節池(供用済み)における取組



飯能県土整備事務所提供

ドローン画像
(2023年9月撮影)

大森調節池(供用済み)における取組



飯能県土整備事務所提供

ドローン画像
(2023年9月撮影)

大森調節池(供用済み)における取組



■2025年2月1日(土)

調節池の治水機能を維持し、かつ開けた水面を確保して、多様な水辺環境を保全するために、市民・企業・行政の連携で、ヨシ・ガマなどの植物を刈って運び出すワークショップを開催

大森調節池(供用済み)における取組



■2025年2月1日(土)

調節池の治水機能を維持し、かつ開放水面を確保して、豊かな水辺環境を保全するために、市民・企業・行政の連携で、ヨシ・ガマなどの植物を刈って運び出すワークショップを開催

水谷調節池(整備中)における取組

- 管理者 (川越県土整備事務所)
- 活動団体 (エコさいたま富士見支部, 志木支部)
- 地元自治体 (富士見市)

主な関係主体



水谷調節池(整備中)における取組



当初の整備イメージパース／川越県土整備事務所提供



関係主体による現場立会い(2024年3月実施時)

■2025年2月14日(土) ※予定

池底の掘り方を工夫することで、洪水時には私たちの生命と財産を守り、
普段は生きもの豊かな水辺環境となるよう、市民・行政の連携で、現場立会い・協議ワークショップを開催

調節池利活用PTについて

調節池の現状

少ない活用事例

災害の激甚化により調節池の数は増加する一方で、河川と比べると活用事例は少数

維持管理負担

平時は貯水していない調節池が大半であり、雑草対策等の底面(池の底)の維持管理には人の手が必要

多様な立地特性

全県に分散しており調節池毎に周辺環境が異なることから、活用のハードルが高い場所も多く存在

BBQ等のアウトドアやレジャー施設、スポーツ大会等のイベント会場として広大な調節池に関心を持つ民間事業者が多く存在

PTの目的

県内調節池の商業利用促進に必要な取組みを、民間・行政双方から意見を集約して整理・可視化する

河川・調節池利活用の先行事例



好事例を横展開



活動内容

WS開催状況

第1回 民間企業意見交換会

調節池の利活用方法について、スポルテック参加企業と意見交換を実施し複数のアイデアを創出



第2回 下忍調節池実地視察会

民間企業による実地視察や先行事例の勉強会や埼玉県・行田市との意見交換を通じて活用イメージを明確化



スポルテック出展

【日時】

2024年7月16日(月)～18日(水)の3日間

※出展時間:各10時～17時

【出店内容】

調節池の利活用に関する情報提供、意向ヒアリング

【来訪数】

3日間合計:66社

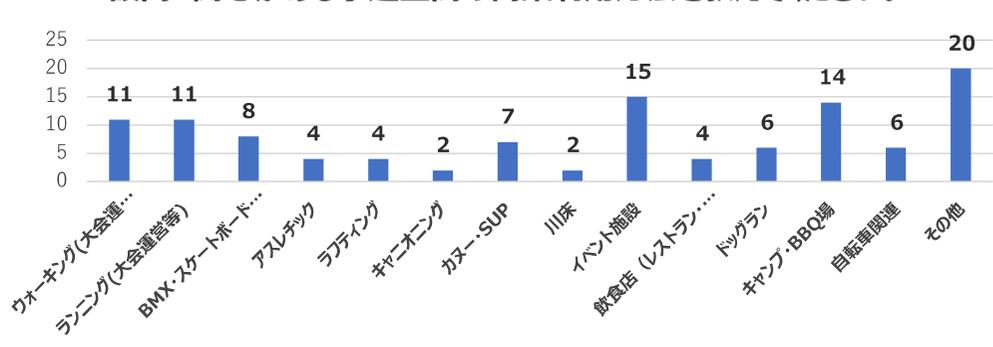
(1日目:19社 2日目:18社 3日目:29社)

図:ブースの様子

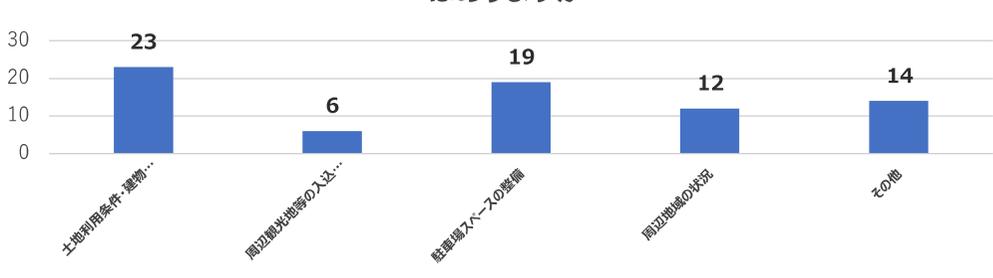


※複数回答可

設問 関心がある水辺空間の商業利用方法を教えてください。



設問 水辺の商業利用に際して自治体から提示してほしい事項はありますか



BBQ等のアウトドアやレジャー施設、スポーツ大会等のイベント会場として広大な調節池に関心を持つ民間事業者が多く存在

ワークショップ開催

【第1回WS:9月2日】

レジャー・アウトドア・スポーツ関連の民間事業者6社が参加し、活用に向けたアイデア案や取組方法について意見交換を実施。



【第2回WS:9月2日】

民間事業者4社が参加し下忍調節池を視察した後、埼玉県・行田市と現況確認や意見交換を実施。



図:第2回ワークショップ(下忍調節池実地視察会・意見交換会)

PT活動のまとめ

WS開催結果

民間の関心

広大地を比較的安価に利用できることから、アウトドア・レジャー施設運営やイベント会社のニーズは多い

活用制度の周知

自治体・民間ともに、どのような流れで活用検討が進み事業化するか、プロセスを知る機会が少ない

情報提供

民間が参入する際の土地利用条件やインフラ整備状況、周辺環境(マーケット)に関する情報が不足

マッチングの機会

活用を促進したい自治体と民間の情報共有・意見交換の場が少なくマッチングに時間がかかる

今後の提言

自治体向け支援プログラム

調節池を有する自治体が、地域に適合する形で活用や保全手法を検討、実装するための**伴走支援プログラム**を構築。
土地利用・インフラ整備に関する基本見解を整理の上、プログラムを通じて普及を促進。

マッチングプラットフォーム

活用を行いたい自治体と民間事業者のマッチングを支援する機会を提供。調節池の基本情報掲載や**マッチングイベント・実地視察会の開催**を通じて、新設または契約更新を迎える調節池に対する民間事業者のアクセスを確保。

利活用検討フロー

自治体や民間事業者が利活用に必要な手続き・手順を理解し、迅速に対応できるように、既存の水辺deベンチャーチャレンジ規定をベースとした**フロー表**を作成。併せて他地域の利活用検討に関する事例を掲載することで横展開を促進。

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム第12回シンポジウム成果報告

「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会
～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

次世代につなぐ大宮公園検討グループ

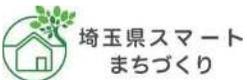
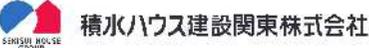


<1>



「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～都市公園の持続可能な利活用と環境保全に関する検討部会～

<大宮公園検討グループ構成メンバー(25者)>

 明治安田生命	 埼玉県スマート まちづくり	 Sin x Planning	 ONIZUMI BANK	 武蔵野銀行
 Rotary 国際ロータリー第2770地区第3グループ	 レンタルのニッケン	 今日も 明日も ずっと。 毎日興業株式会社	 学研スタディエ	 埼玉りそな銀行
 Welcome to Saitama さいたま観光国際協会 Saitama Tourism and International Visitors Bureau	 Vixen®	 JAKUETS	 一般社団法人 キャリアチャレンジ 総合研究所	 鎌倉屋
 埼玉県立 歴史と民俗の博物館 Saitama Prefectural Museum of History and Folklore	 GSR Consulting	 MET Design	 積水ハウス建設関東株式会社	 GOKIN die-cast products
 学校法人 芝浦工業大学	 公益財団法人 埼玉県公園緑地協会	 BROCADE Technologies & Concept Development		 フクフク屋カクチ TAIKI PRINTING Co.,Ltd.



大宮公園検討グループ
<2>



令和6年度の実施内容

舟遊池の自然再生等（環境保全）と新たな賑わいづくり（利活用促進）の両輪で実施

春

夏

秋

冬



ボランティア団体「大宮池守」による舟遊池の自然再生・保全活動



「水辺で乾杯」



都市公園フォーラム



「ボート復活祭」

貸しボート営業等



「夏休みSDGs探究イベント」

× 同時開催



「防災車中泊&キャンプFes.」



大宮公園検討グループ

<3>





「大宮池守」による舟遊池の自然再生・保全活動

公園管理者及びボート事業者と連携しながら 自立的なボート池の自然再生・保全活動を実施



【公園管理者及びボート事業者の支援内容】

- 活動に必要な資材（消耗品等）の調達 <公園スタジアム課または大宮公園事務所>
- 活動資材等の保管場所の提供 <大宮公園事務所>
- 埼玉県との連絡調整窓口<ボート事業者>



大宮公園検討グループ

<4>



民間企業が主体となった利活用促進イベント

大宮公園の持つ魅力やポテンシャルを最大限活用し、新たな賑わい創出をめざす

活動の意義

地域経済の活性化、及び、公園を中心とした賑わいの創出

活動におけるメリット

- ・学びの機会⇒埼玉県が目標とするSDGS取組みの理解・浸透
- ・交流の促進⇒企業や関係者同士のリレーションシップ構築
- ・参加企業の経済的価値の創出

2024年度は具体的な取り組みとして2つのイベントを企画・開催

- ・夏休みSDGS探求イベント(7/27開催)
- ・防災車中泊&キャンプFes(11/9、11/10開催)

夏休みSDGs探求イベント

【イベント主旨】

- 大宮公園という環境を最大限活用し、子どもたちがSDGsをより身近に感じるための体験機会を創出するとともに親子で楽しむ、家族の絆を深めることができるような場とする

【イベント概要】

日時	2024年7月27日(土)10:00～
会場	大宮公園 埼玉百年の森
主催・共催	【主催】一般社団法人キャリアチャレンジ総合研究所 【共催】明治安田生命保険相互会社 埼玉本部、 株式会社ビクセン 一般社団法人埼玉県スマートまちづくり
協力	・さいたま市子ども食堂ネットワーク ・埼玉県警察
後援	埼玉県、さいたま市教育委員会
概要	SDGsや環境問題に目を向けるきっかけとなるような体験型のワークショップを全16ブース出展・運営



【当日の様子】

約2,000名のお客さまがご来場。
各ブースにてSDGs取組みに多くの方が触れていただくことができました



防災車中泊&キャンプFes.

【イベント主旨】

■「防災を楽しくまなぶ」をコンセプトに、災害対策や避難方法について体験を交えながら知っていただく

【イベント概要】

【当日の様子】

約8,000名のお客さまがご来場。
大宮第二公園の環境を最大限活用し、
災害時に役立つ防災グッズや、緊急時に
役立つ知識等を多くの方に体験いただく
ことができました。



日時	2024年11月9日(土)~11月10日(日)
会場	大宮第二公園
主催・共催	【共催】大宮公園防災車中泊&キャンプFes.実行委員会 大宮第二公園及び第三公園マネジメントグループ
後援	埼玉県、さいたま市、一般社団法人日本RV協会
概要	特設ステージでのイベントやブースでの各種体験を通じて、大宮第二公園を楽しんでいただくとともに、地域住民の防災意識を向上



都市公園部会フォーラムの開催

「次世代につなぐ大宮公園フォーラム2024」を開催

【実施日時】 令和6年12月18日（水）13時55分～16時30分

【会場】 埼玉会館 セミナールーム

- 【実施目的】
- 埼玉県SDGs官民連携プラットフォームが発足して約5年、「ワンチームで埼玉版SDGsを推進する」を合言葉に各分科会で様々な活動を行っております
 - 一方で各分科会との交流や情報交換や共有する機会が少なく感じており、今回年1回行われるシンポジウムとは別に、特定の分科会をフォーカスし事例等を発表することで、自身の属する分科会での取り組みや活動計画にフィードバックし、さらなる知見を積み重ねることで、認知とネットワークの拡大を行うフォーラムにすること。



これまでとこれからを

基調講演 14:00～14:40
「大宮公園と氷川神社」
武蔵一宮氷川神社
後宮町
東角井 真由氏

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム
次世代につなぐ
大宮公園フォーラム2024

12月18日（水）13:45～16:30
<受付>13:30～
先着100名（事前予約）

会場 埼玉会館 ラウンジ

主催：埼玉県（事務局：公園スタジアム課）
企画・運営
埼玉県スマートまちづくり

プログラム
開会式 13時45分～
基調講演 14時00分～14時40分
活動報告 14時45分～15時50分
交流会 15時55分～16時30分



大宮公園検討グループ

<8>



都市公園部会フォーラムの開催

第1部

<基調講演>

武蔵一宮氷川神社 権宮司
東角井 真臣 氏



第2部

<活動報告>

次世代につなぐ大宮公園検討グループメンバー



交流会



参加人数

約 60 名

ボート復活とこれからの都市公園部会



「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」分科会 ～里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会～

構成メンバー(25者)

県みどり自然課 県森づくり課 入間市 飯能市 吉見町 飯能信用金庫

(NPO法人)埼玉ハンノウ大学 (NPO法人)埼玉環境カウンセラー協会

株式会社自然教育研究センター 獨協大学 埼玉大学 (公益財団法人)埼玉県生態系保護協会

秩父広域森林組合 株式会社ノヴァ 武蔵野銀行 望月印刷株式会社 株式会社住田工務店

埼玉りそな銀行 株式会社Akinai (一般財団法人)埼玉しあわせ未来基金 森のフィールド学舎

株式会社アイコム 小鹿野町特定地域づくり事業協同組合

古郡ホーム株式会社 株式会社 マツザキ株式会社

検討部会における活動実績について

令和6年8月1日
「官民連携・共創による緑の保全・活用」セミナー
～生物多様性・ネイチャーポジティブが企業価値を変える～

参加者61人
環境団体、造園業、建設業、製造業、通信業、都市コンサルタント、金融機関、官公庁など業種を問わず参加

令和6年10月8日
緑の保全・活用を考える「市町&企業」交流会
緑の保全・活用に興味がある、候補地検討中の企業・団体の皆さんはぜひ！
候補緑地をもつ埼玉県内の7市町が参加、気軽に交流できます

さいたま市、所沢市、戸田市、入間市、新座市、白岡市、吉見町

(株)アイコム、飯能信用金庫、(株)武蔵野銀行、埼玉県生態系保護協会ほか6団体

令和6年12月17日
緑の保全・活用を考える「市町&企業」意見交換会in入間市
～「加治丘陵」で一緒に緑の保全・活用に取り組みませんか～

入間市

(株)アイコム、埼玉ハンノウ大学、トラスト地ボランティアスタッフほか



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<2>



「官民連携・共創による緑の保全・活用」セミナー

(令和6年8月1日 埼玉会館)

最新動向を知り、事業機会に活かしませんか？

生物多様性・ネイチャーポジティブが 企業価値を変える

こんな方におすすめ！

- ✓ 環境経営に関心がある！
- ✓ 生物多様性と企業の取組との関連性を知りたい！
- ✓ 環境保全活動等で企業価値を向上させたい！



「官民連携・共創による緑の保全・活用」セミナー

- ・ 基調講演

ネイチャーポジティブに対する国の取組・企業への期待

【講師】環境省自然環境局自然環境計画課生物多様性主流化室

- ・ 講演

ネイチャーポジティブが生み出す事業機会

【講師】住友林業緑化株式会社 環境緑化事業部みどり価値推進部

- ・ 埼玉県内の官民連携・共創による緑の保全・活用事例紹介

公民連携による緑化滞在空間の創出

【事例紹介】さいたま市都市局みどり公園推進部みどり推進課

企業ができる所沢市ネイチャーポジティブへの貢献

【事例紹介】株式会社NTTドコモ埼玉支店長

- ・ 官民連携・共創による緑の保全・活用

【説明】埼玉県環境部みどり自然課



セミナー終了後は
講師、参加者の交流の場

緑の保全・活用を考える「市町&企業」交流会

(令和6年10月8日 埼玉教育会館)

【さいたま市、所沢市、戸田市、入間市、新座市、白岡市、吉見町】



【例：入間市 加治丘陵】

各緑地の紹介

主な各市町の緑地の課題

- ・ナラ枯れ被害を受け、多くの木を伐採した。
- ・植樹をしたい。
- ・伐採後の玉切りをした木材を有効活用したい。

【企業・団体】

10者参加

主な意見、感想

- ・現地で伐採した木材を利用して、木道を整備するなどの取組ができるのでは。
- ・誘客を狙うのであれば駐車場が必要。駐車場づくりに協力したい。
- ・市町の方々からリアルな地域課題や悩みごとが聞けた。社内検討したい。
- ・今後も意見交換や緑地の視察を希望したい。



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<5>



緑の保全・活用を考える「市町&企業」意見交換会in入間市

(令和6年12月17日 入間市農村環境改善センター・加治丘陵)

加治丘陵の概要

位置：首都圏の北西約40km圏、埼玉県南端の中央
人口：144,732人（令和6年1月1日現在）
面積：44.69km²（東西9.3km、南北9.8km）
加治丘陵：市域の北西部に位置する約460haの丘陵



里山、まちのシンボル、原風景 ⇒保全・活用

- 加治丘陵さとやま計画 H10.3～
計画区域424ha 5つの区域に分け保全・活用の推進
- （仮称）加治丘陵さとやま自然公園見直し計画 H20.7～
110.2haを都市公園として整備予定

加治丘陵の抱える課題

課題① 行政の財政事情

⇒財政事情により公有地化、活用、維持管理の見直しが必要

課題② 山林管理の担い手不足

⇒活動団体が高齢化、活動資金不足等で減少傾向

課題③ 未活用資源の増加

⇒山林更新や維持管理の滞り、伐採木の残置等、里山が循環的に活用されていない



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<6>



緑の保全・活用を考える「市町&企業」意見交換会in入間市

(令和6年12月17日 入間市農村環境改善センター・加治丘陵)

企業からの主な意見

- 活動を通して地域貢献、環境保全活動に取り組むきっかけとしたい。
- 間伐材やナラ枯れ材を活用する取り組み、未活用地に遊び場整備など集客や知名度アップに有効活用ができないか？
- 長期的に取り組める＝収益化が一定見込める活動が望ましい。



今後の事業化への展望

- 例) ナラ枯れ材を薪やチップに加工し活用
- 丘陵内からの持ち出し、加工コストが課題
 - 市有地の木材を引渡すための制度整備が必要

里山の保全・活用のバランスをとりながら、
企業、地元団体、学校等と横断的な活動協力を検討

里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<7>

交流会、意見交換会に参加して



(株) アイコム (さいたま市岩槻区)
クラフト製品等の 企画 開発・製造 販売等



- 竹林整備・粉砕の有効活用
- 中低木樹の伐採・ナラ枯れ伐採後の玉切り
- 木材を使用したグッズ製作
マスコットキャラクター等を用いたイベント用グッズの提供



など

2025年1月18日～19日 埼玉県SDGsフェア
間伐材を利用したミニジオラマ作成



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会

<8>

